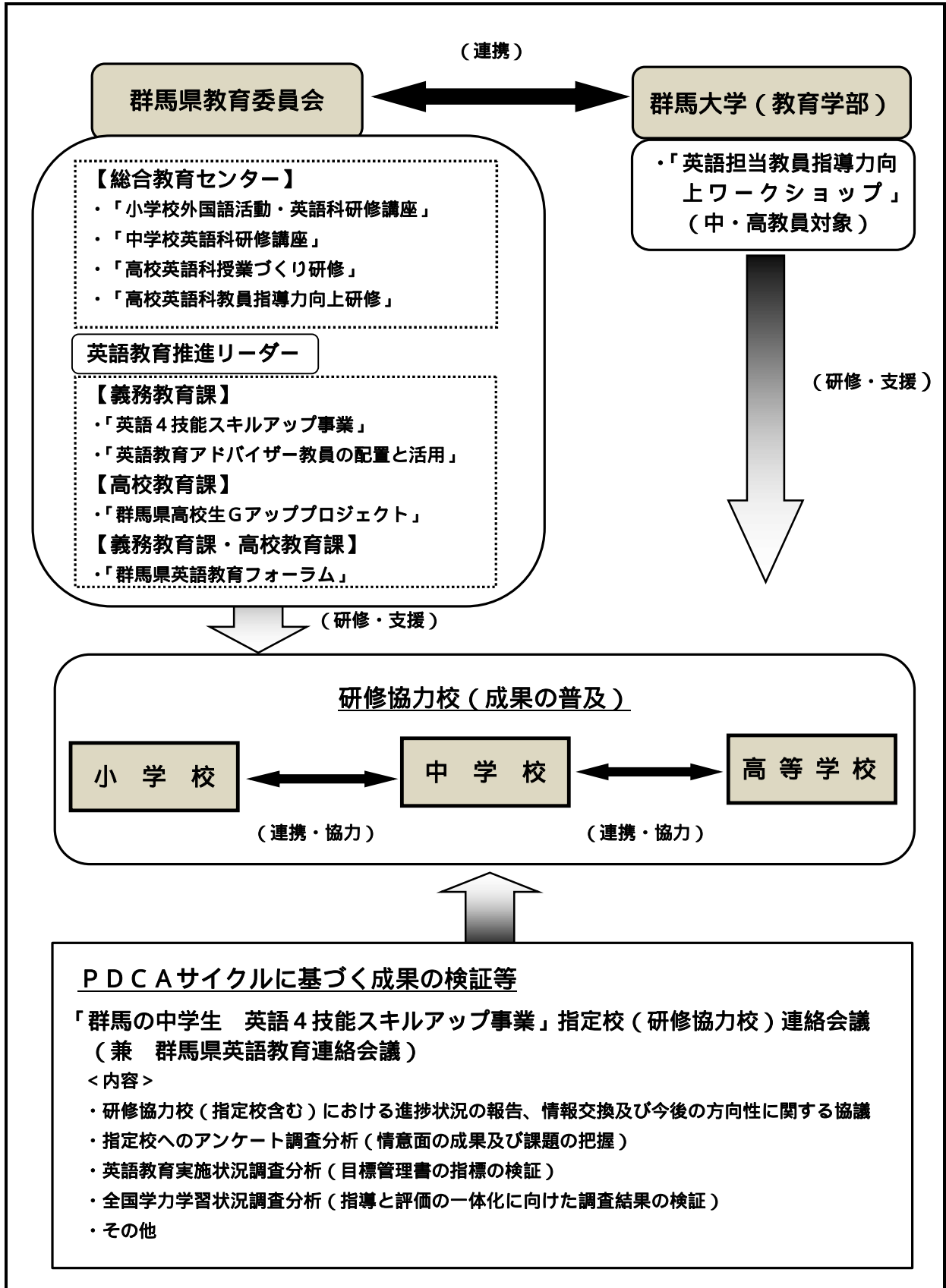


(様式 3 - 2)

群馬県英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

英語教育の状況を踏まえた目標管理

【小学校】

学習到達目標の整備状況について

小学校では平成32年度の学習指導要領の全面実施に向けて、研修等を通じてCAN-DOリストの作成を促していく。その際、平成26年度から4年間取り組んだ英語教育強化地域拠点事業の拠点校が作成したCAN-DOリストを参考にしよう指導を行い、2020年度にはCAN-DOリストを設定した学校の割合を50%と目標値を設定する。また、公表している学校、達成状況を把握している学校の割合ともに50%を目標値とする。

研修実施回数及び研修受講者数について

小学校では研修実施回数は、平成29年度9回、平成30年度は12回であった。受講者数も平成29年度は307名、平成30年度は320名であった。小学校英語教育に係る新教育課程説明会を各教育事務所管内において実施したのに加え、小中連携の視点から、「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」の研修会においても小学校教員を対象とした。平成31年度においては、引き続き「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」の指定校の公開授業への参加者として小学校教員を対象とする。また、県内に5名配置される英語教育アドバイザー教員の公開授業も実施する。

平成31年度は、研修回数の目標値を13回と設定し、各校1名が参加することを想定し、受講者数の目標値を306名と設定する。

【中学校】

求められる英語力を有する教員の割合について

CEFR B2を有する教員の割合は、平成29年度は27.2%、平成30年度は31.3%であった。平成31年度は35%に目標値を設定する。そのために、6月には中学校英語教員を対象に実施する「中学校英語科研修講座」の中で、県のALTアドバイザーを講師として活用し、教員の英語力が向上するよう、少人数の班での意見交換や、授業でも使える英語でのコミュニケーションを中心とした英語力向上研修を行うとともに、外部試験の受検を促し、CEFR B2を有する教員の割合を増加させる。

また、小学校教員に対しても7月に実施する「小学校外国語活動・英語科研修講座」において同様の研修を行い、教員が英語で授業を行うことに、自信がもてるよう支援する。

求められる英語力を有する生徒の割合について

CEFR A1以上相当の英語力を有する生徒(中3)の割合は、平成29年度は43.3%(英検3級以上相当)、平成30年度は40.9%であった。平成31年度は50%に目標値を設定する。そうした中でも、実際にCEFR A1以上の英語力を取得している生徒の割合は、平成29年度は26.8%、平成30年度では27.3%と上昇しており、生徒の英語に対する意識は高まっている。

生徒の英語4技能をバランスよく育成し、コミュニケーション力を高めるために、本県で3年間の計画で取り組む「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」において、指定校(研修協力校)の公開授業を実施し、その成果を普及し授業改善を促すことで、求められる英語力を有する生徒の割合を高める。

学習到達目標の整備状況について

学習到達目標の整備状況については、CAN-DOリストを設定している中学校の割合は平成29年度、平成30年度ともに100%であり、平成31年度も100%を維持するとともに、中学校学習指導要領の全面実施に向けてCAN-DOリストの見直しを促していく。

また、CAN-DOリストを公表している学校の割合については平成29年度、平成30年度ともに9.9%であり、学習到達目標の達成状況を把握している学校については、平成29

年度は38.9%、平成30年度は36.4%であった。平成31年度は公表している学校の割合を20%、達成状況を把握している学校の割合を50%と設定する。現在の状況においては、CAN-DO リストは整備してあるものの、その達成状況について、教員が意識していない状況が見られるため、各研修や本県で全ての教員に配布し、授業改善に活用している指導資料「はばたく群馬の指導プラン」において CAN-DO リストと各単元の課題の整合性を図ることを周知し、授業改善を進める。

また、「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」の指定校（研修協力校）における公開授業を通じて、CAN-DO リストに基づく授業を実施し、活用方法を全県に周知する。

生徒の英語による言語活動時間の割合について

生徒の英語による言語活動時間が授業の50%以上の学校の割合は、平成29年度は85.7%、平成30年度は86.3%である。平成31年度の目標値は90%と設定する。そのためには「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」において指定校が取り組む即興的な言語活動や領域統合的な言語活動について、その成果を普及したり、群馬県総合教育センターでの研修講座「中学校英語科研修講座」において、言語活動を中心とした中学校英語の高度化について、文部科学省調査官による講義を設定したりすることで、教員の意識改革と言語活動を中心とした指導への改善に取り組む。

パフォーマンステストの実施状況について

パフォーマンステストの実施状況については、年間でスピーキングテストが平成29年度2.9回、ライティングテストが1.5回であったが、平成30年度にはスピーキングテストが3.3回、ライティングテストが2.4回となった。語彙や文法に対する知識偏重ではなく、言語活動を中心とした授業を行い、その授業によって身に付けた生徒の力を評価しようとする意識が高まってきたことによるものと考えられる。平成31年度はスピーキングテストが4回、ライティングテストが3回に目標値を設定する。「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」の公開授業においても、言語活動で身に付けたコミュニケーション力を測る機会の重要性を周知し、授業内容に合致した評価方法となるよう、従来のペーパーテスト以外の評価方法を計画的に実施するよう促す。

英語担当教員の英語使用状況について

英語担当教員が授業中、発話の半分以上を英語で行っている割合については、平成29年度は79.2%、平成30年度は84.7%となっており、平成31年度は90%に目標値を設定する。中学校では、小中連携が進むことで、小学校の授業を踏まえた授業づくりが進み、中学校の授業においてもコミュニケーションを中心とした授業となり、教員が英語で指導することが求められている。小中連携の取組を進めながら、授業で教員が英語を使用する場面も増やしていく。

また、教員が生徒の理解状況を考慮せず、一方的に英語で授業を進めることがないよう、英語で進める効果的な英語の授業の在り方においても、「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」の指定校（研修協力校）の公開授業において示していく。

研修実施回数及び研修受講者数について

研修実施回数については、中学校では平成29年度6回、平成30年度は8回であり、研修受講者数については、平成29年度110名に対して、平成30年度は190名であった。

昨年度は「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」において、英語4技能をバランスよく育成し、コミュニケーション力を高めるための研修会を2回実施し、指定校公開授業においても、領域統合型の評価問題についての研修を合わせて実施した。

平成31年度についても、本年度と同様に、小中連携の視点から参加者の校種を問わず、研修や公開授業を実施し、さらに、義務教育課と高校教育課が連携し、中学校と高校の授業公開や研修会において、お互いの教員が校種を跨いで参加し、隣接する校種の英語教育につ

いて理解できるようにする。

平成31年度は研修実施回数目標値を8回とし、受講人数目標値を各校1人の参加を想定し、162名と設定する。

【高等学校】

求められる英語力を有する教員の割合について

CEFR B2以上等を取得している英語担当教員は、現状、全体の約71.7%である。近年、種々の外部検定試験への関心は高まっており、CEFR B2以上等を取得している者の割合は、少しずつ増加してきた。

今後、教育委員会として、研究協議会等で「教員の求められる英語力」について周知を図るとともに、英語教育推進リーダーを活用した研修等を継続し、教員の英語運用能力の向上を目指す。また、外部検定試験の受験を奨励し、CEFR B2以上等を取得している者の割合を平成31年度は74%以上としたい。

求められる英語力を有する生徒の割合について

高校3年生でCEFR A2以上相当の英語力を有する者の割合は、現状、40.3%である。大学入学者選抜改革に伴い、外部検定試験を受検する生徒も更に増加すると考えられる。県教育委員会として、平成31年度目標値を42%に設定し、学習指導要領の趣旨に沿った授業改善を更に推進したり生徒の英語運用能力を適切に測ることができるような学習評価の改善を推進したりするなどして、生徒の英語コミュニケーション能力の伸長を一層図っていききたい。

学習到達目標の整備状況について

「CAN-DO リスト形式の学習到達目標」については、その趣旨や作成方法等について各種研修や協議会等で周知を図ってきた。また、「CAN-DO リスト形式の学習到達目標」の活用を目指し、総合教育センターで、年間指導計画との関連付けや評価方法の見直しに向けた研修を行った。平成30年度同様、平成31年度当初には、各学校で見直した「CAN-DO リスト形式の学習到達目標」の提出を求めており、更なる活用を図りたい。

パフォーマンステストの実施状況について

パフォーマンステストの実施についても、各種研修や協議会等で周知を図っており、実施状況は改善しつつある。これまでの事業の成果として、学校の取組事例等をまとめた、「群馬県高校生パフォーマンステストアイディア集」を作成しており、この資料も活用しながら、今後も指導と評価の改善を進めていきたい。

(3) 研修の体系と内容の具体

研修の体系と内容の具体

県教育委員会及び群馬県総合教育センター主管の外国語活動及び英語担当教員研修について
「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」

目的：県内5教育事務所管内に8指定校を設置し、英語教育強化地域拠点事業（H26～29）の成果を普及するとともに、新学習指導要領の全面実施に向け、4技能をバランスよく育成する中学校の英語指導の在り方を確立し、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。

内容：・4技能をバランスよく育成する指導の在り方の確立に向け、指導資料「はばたく群馬の指導プラン」に基づく単元計画及び1単位時間の授業構成に沿った授業実践を行う。

- ・指定校に配置する特配教員が校区内の小学校を兼務し、高学年の英語指導を行う。
- ・モデルとなる授業スタイルの在り方を広く普及するため、全県の小・中・高等学

校教員を対象にして公開授業を行う。

「群馬県高校生Gアッププロジェクト」

目的：県内5校を指定校とし、国数英の3教科について、生徒の思考力・表現力・判断力等を育む指導や評価の実践研究を進める。

内容：・表現力の育成を重視し、指導や評価の方法について、校内で協力して研究実践を行う体制をつくる。
 ・生徒の実態に合った「CAN-DO リスト形式の学習到達目標」の見直し及び年間指導計画への反映等、効果的な活用について研究する。
 ・スピーキングテストを中心とするパフォーマンステストの実施等、4技能をバランスよく測る方策について研究する。
 ・成果を普及するため、全県の小・中・高等学校に向けて公開授業等を行う。

「小学校外国語活動・英語科研修講座」

対象：小学校の教員（50人）

目的：新学習指導要領の全面实施に向けて円滑な移行ができるよう、小学校英語教育における指導力向上と授業に役立つ英語力向上を図る。

内容：（第1日） 講義・演習「効果的なSmall Talkの在り方について」
 ・Small Talkの意義を理解し、効果的な活用方法を体験的に学ぶ。
 講義・演習「効果的な場面設定の在り方」
 ・英語で話す必然性のある場面設定や自動が興味・関心をもって話したくなる場面設定の方法を学ぶ。
 演習「小学校教員としての英語力向上を目指して」
 ・授業やALTとの打ち合わせに使える英語表現を体験的に学ぶ。
 講師：義務教育課 ALTアドバイザー

（第2日） 講義「授業研究」

・授業参観及び授業研究会を通して、効果的な指導方法を及び評価方法を協議することにより、小学校英語教育の早期化・教科化についての理解を深める。

「中学校英語科研修講座」

対象：中学校の英語教員（50人）

目的：新学習指導要領の全面实施に向けて円滑な移行ができるよう、中学校英語教育の高度化に向けた教員の指導力及び英語力の向上を図る。

内容：（第1日） 講義・演習「高度化の具体と評価の在り方」
 ・実践例を通して高度化された授業の具体と評価の在り方を学ぶ。
 講師：文部科学省初等中等教育局 山田 誠志 教科調査官

演習「中学校教員としての英語力向上を目指して」

・「授業は英語で行うことを基本とする」ことの趣旨を理解し、生徒の実態に応じ、日本語を介さず、授業を英語で進める力を高める。
 講師：義務教育課 ALTアドバイザー

（第2日） 授業参観及び授業研究会(各教育事務所管内で実施)

・中学校での授業参観と授業研究会を通して、高度化に向けた効果的な指導法について理解を深める。

「高校英語科教員指導力向上研修」

対象：高等学校及び中等教育学校の英語科教員

目的：参加型ワークショップを基本とし、他校の教員と情報や考えを共有しながら英語運

用能力及び教科指導力の向上を図る。

内容：3日間とも高校の英語教育推進リーダーを講師とし、その研修内容を本県の全高等学校及び中等教育学校の英語科教員に普及する。

(第1日)・講義・演習「Personalization」

- ・講義・演習「語彙・表現に関わる言語活動」
- ・講義・演習「話すことに関わる言語活動」

英語教育の動向について学ぶとともに、「話すこと」に視点を当て、言語活動を体験しながら、自らの授業運営に生かす。

(第2日)・講義・演習「聞くことに関わる言語活動」

- ・講義・演習「書くことに関わる言語活動」

・講義「今、求められる英語指導の在り方～新学習指導要領を見据えた小中高の指導の要点をおさえる」

講師 お茶の水女子大学附属高等学校 津久井 貴之 教諭

「聞くこと」「書くこと」に視点を当て、演習を通して授業中の言語活動の充実方法を学ぶ。

(第3日)・講義・演習「読むことに関わる言語活動」

- ・協議・演習「コミュニケーションを支えるための文法」

・講義「新学習指導要領の趣旨を踏まえた、高等学校英語科の在り方～ディベート実践を通して～」

講師 中央大学文学部 矢野 善郎 教授

- ・協議「今後の英語指導についての目標と課題」

他技能との関連を重視した「読むこと」を学ぶとともに、文法指導の在り方について演習を通して考える。また、学んだことをどう生かすのか協議する。

群馬大学との連携について

「英語担当教員指導力向上ワークショップ」の開催（県教育委員会共催事業）

対象：小・中・高等学校及び中等教育学校の英語担当教員

概要：小学校外国語活動と中学校英語科及び高等学校外国語科を効果的に連携できるようにするため、指導方法や授業づくりについての研修を通して実践的指導力の向上を図る。ワークショップの実施に当たっては、県教育委員会の指導主事等が講師として参加することにより、大学と連携して指導力向上を図る予定である。

「英語担当教員発音ブラッシュアップ研修」の開催（県教育委員会共催事業）

対象：小・中・高等学校及び中等教育学校の英語担当教員

概要：生徒への指導において、担当教員が適切な英語の発音を用いることができることを目的として実施する。実施に当たっては、群馬大学の施設を利用し、講師は、群馬大学の教授とする。

「群馬県英語教育フォーラム」について

「群馬県英語教育フォーラム」（年1回開催）

対象：小・中・高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の英語担当教員約300名

内容：授業実践発表、講演会、分科会での協議等を通して、英語担当教員の指導改善に対する意識を高め、県全体における英語教育の改善を図る。

分科会の中では英語教育推進リーダーを講師とした研修を行う。

研修協力校の取組について

小学校

- ・研修協力校・・・ 太田市立旭小学校、高崎市立倉淵小学校と県教育委員会が配置している「英語教育アドバイザー教員」の配置校計5校のうち3校（東吾

- 妻町立原町小学校、昭和村立東小学校、明和町立明和東小学校)
- ・取組内容・・・太田市立旭小学校、高崎市立倉渕小学校では、太田市立旭中学校、高崎市立倉渕中学校の英語教員が、小中連携を踏まえた効果的な英語の指導に取り組む。
また、「英語教育アドバイザー教員」の配置校では、英語教育アドバイザー教員の主導により、英語の指導力向上を図るとともに、各教育事務所管内において、モデルとなる授業を公開する。
- 中学校
- ・研修協力校・・・「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」の8指定校のうち6校を研修協力校とする。(伊勢崎市立境南中学校、渋川市立北橋中学校、高崎市立倉渕中学校、藤岡市立小野中学校、高山村立高山中学校、太田市立旭中学校)
 - ・取組内容・・・「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」の取組に加え、指導資料「はばたくぐんまの指導プラン」に沿った授業実践をとりまとめた実践事例集を作成し、全県の中学校英語教員に配布する。
- 高等学校
- ・研修協力校・・・「群馬県高校生Gアッププロジェクト」の5指定校を研修協力校とする。(県立前橋南高校、県立前橋東高校、県立太田女子高校、県立渋川高校、県立富岡高校)
 - ・取組内容・・・研修協力校の取組は「群馬県高校生Gアッププロジェクト」と同様とする。

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	<ul style="list-style-type: none"> 「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」指定校(研修協力校)連絡会議(義務教育課) 英語教育アドバイザー教員(EAT)による小学校教員への指導・助言(年間を通じて) 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> 「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」指定校に対する指導に係る英語担当指導主事による情報交換 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> 中学校英語科研修(総合教育センター) 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> 小学校外国語活動・外国語科研修(総合教育センター) 高校研修協力校授業研究会(高校教育課) 高校英語科教員指導力向上研修(総合教育センター) 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査英語についての結果分析 高校英語科教員指導力向上研修(総合教育センター) 	<群馬大学> ・英語担当教員指導力向上ワークショップ ・英語担当教員発音ブラッシュアップ研修
9月	<ul style="list-style-type: none"> 中学校英語科研修(総合教育センター) 「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」指定校(研修協力校)訪問 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> 「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」指定校(研修協力校)公開授業 小学校外国語活動・外国語科研修(総合教育センター) 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> 「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」指定校(研修協力校)公開授業 高校英語科教員指導力向上研修(総合教育センター) 「高校生Gアッププロジェクト」拠点校(研修協力校)公開授業 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県英語教育フォーラム(総合教育センター) 	<群馬大学> ・講演又はワークショップ
1月	<ul style="list-style-type: none"> 英語教育アドバイザー教員(EAT)の訪問指導についての情報交換 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> 「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」指定校(研修協力校)訪問 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> 英語担当指導主事による、次年度に向けての英語教育の方向性についての情報交換 	
【その他の取組】		

